



大阪府における公民連携の取組みについて

スピーディーな
公民連携

令和元年6月

大阪府 公民戦略連携デスク



1. 「公民戦略連携デスク」とは

Keyword 1 ワンストップ窓口
One-Stop Service

平成27年4月に設置
「**公民連携の旗振り役**」として民間との連携を推進
専任部署を設けるのは**都道府県初**

企業・団体と大阪府・市町村をつないで、イノベーションをおこし「**プラットフォーム（HUB）**」として「**スピーディー**」に
公民連携を進めていく専任部署

近年、企業の社会的責任として取り組む従来の社会貢献活動である**CSR**だけでなく、人口減少や高齢化といった社会の共通課題に対して、企業の本業を通じて解決に取り組む**CSV**、いわゆる「公と民による共有価値の創造」が拡大

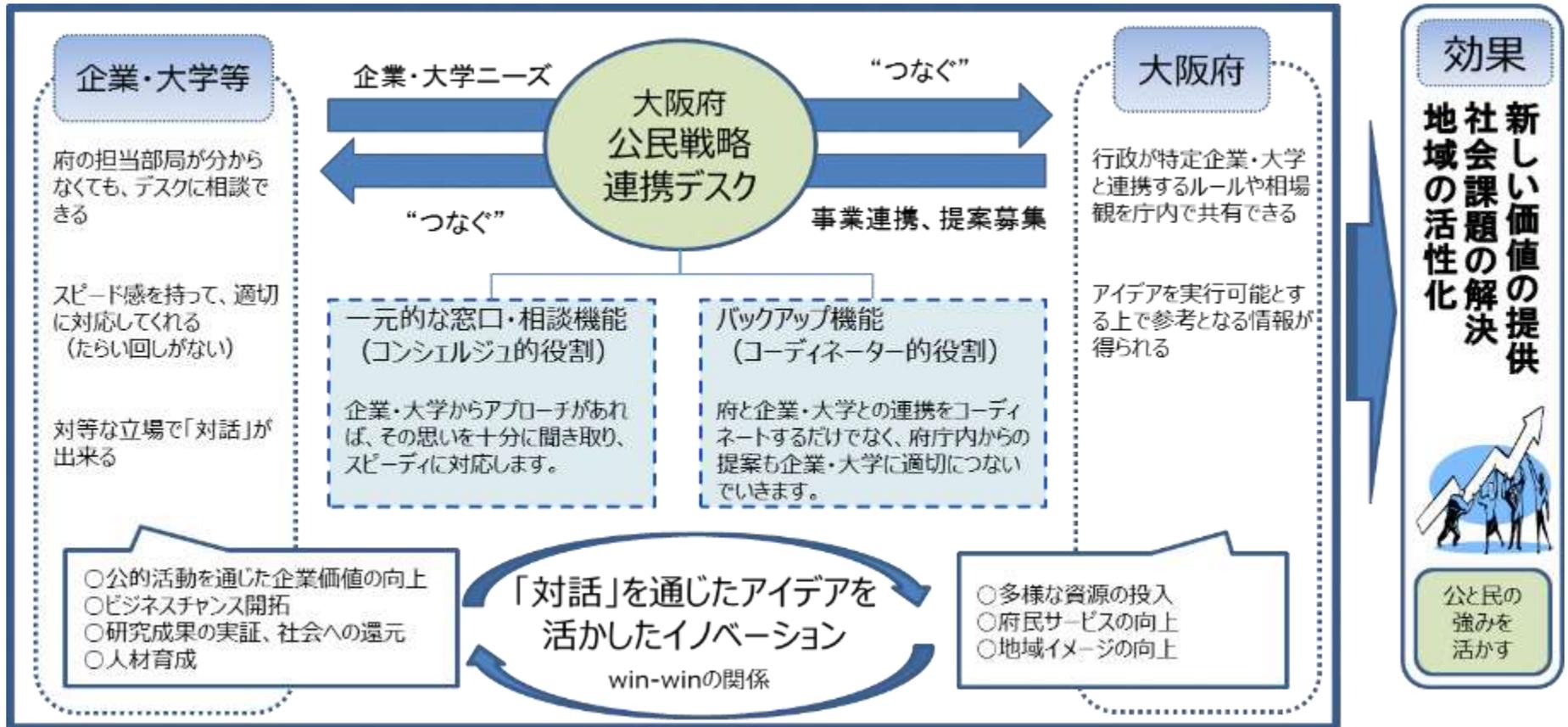
このCSVに着目し、府民・企業・行政にとつての「**三方良し**」を目指す

Keyword 2 三方良し
Win-Win-Win



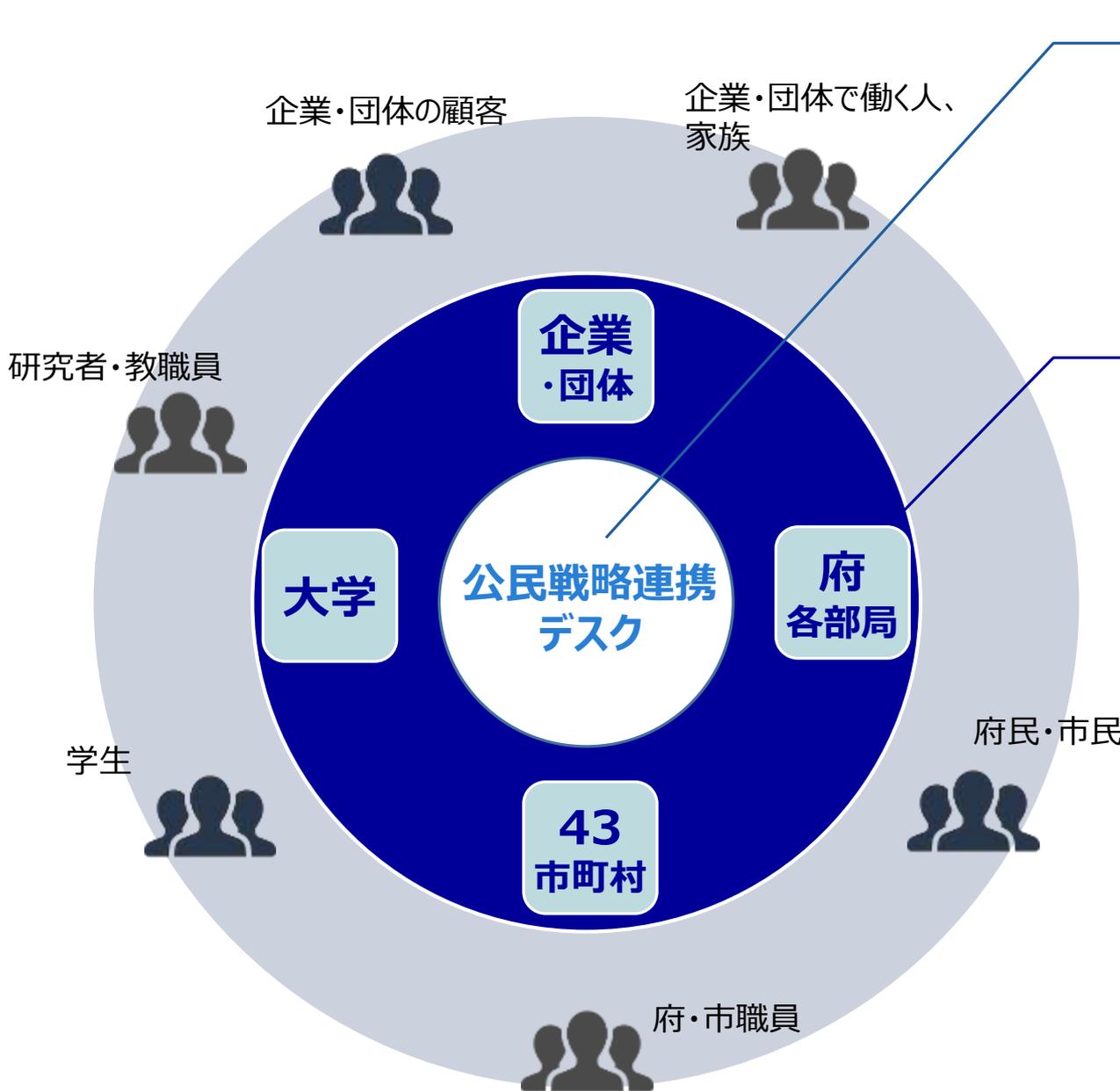
1. 「公民戦略連携デスク」とは

- 企業・団体と大阪府・市町村をつないで、イノベーションをおこし「プラットフォーム（HUB）」として「スピーディー」に公民連携を進めていく専任部署





1. 「公民戦略連携デスク」



HUB機能

公民戦略連携デスクにつながることで、様々なステークホルダーと接点を持つことができる

プラットフォーム機能

公民戦略連携デスクと繋がりをもつ様々な事業者（公・民）が集まっている

包括連携協定の数
：49社4大学

Well-Being OSAKA Lab
参画企業数：122企業

繋がり数
：640企業・団体

1. 「公民戦略連携デスク」とは

Keyword 3 SDGs (持続可能な開発目標)
Sustainable Development Goals

2025年国際博覧会の開催を通じて達成を目指すSDGs
(持続可能な開発目標)

大阪府では公民連携を通じて、**SDGs**の取組みを推進

貧困や飢餓、健康・福祉、教育、エネルギー、まちづくり、技術革新、平和など17の目標と、達成するための具体的な169のターゲットに基づいて、未来社会をデザイン



2. 連携項目



連携項目（案）

子ども・福祉

健康

雇用促進

地域活性化
(万博 SDGs)

安全・安心

府政のPR

中小企業振興

女性活躍

環境

新規案件

3. 具体的な取組み例 (府政PR・地域活性化)

➤ 府政のPR・大阪の魅力発信

様々な府政情報の発信



インターネットテレビ、機関誌、
屋内外サイネージ ATM画面 ほか

・りそな銀行、大阪信用金庫、関西ばど、大阪信用金庫、ハークスレイ、FC大阪をはじめ、包括連携協定締結企業は全て、新たな顧客開拓や信頼性の向上、社会貢献活動の一環として、各社のネットワークツールを活かして府施策のPRに協力



大阪府チャンネル (インターネットテレビ)
毎月第一木曜日12時00分～生配信
企画・運営：大阪府 協力：FC大阪

OSAKA愛鑑 (おおさかめいかん)

➤ 市町村と連携した取組み

・FC大阪の運営協力のもと、大阪府及び市町村の人やものの魅力を『大阪から世界へ』発信するため、市町村とも連携しながら「OSAKA愛鑑」のHP・SNSを開設。インターネットの他、ラジオや地域テレビなどでも大阪の魅力を発信。大阪府チャンネルもその取組みの1つ



➤ 地域活性化に関する取組み

大阪産(もん)の普及・促進



・大阪産 (もん) の消費拡大を図るため、ブランド化を推進
・キリンビールによる大阪産 (もん) と自社のご当地ビールをPRするポスターの掲示、レストラン「旬穀旬菜」(グランフロント大阪)における大阪産 (もん) を用いたメニューの開発・提供、セブン-イレブン・ジャパンやローソンでの大阪産を活用した商品開発・販売などを実施



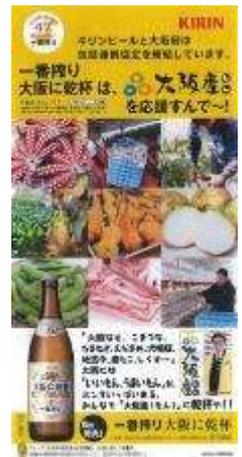
<旬穀旬菜 大阪産 (もん) フェア>



<大阪産 (もん) 麻婆茄子丼>



<八尾若ごぼうと小エビのおむすび>



<大阪産 (もん) みかんサンミー>